

猶してきたように、今後どのようにに根本的な解決を図るのか、民営化を含め早急に具体化する必要があると思われます。同時に留保資金のない状況下においては営業収支の改善が図られるまでは一般会計からの助成を受け続けることになるが、町の財政事情が厳しい折、この点での理解が得られるよう配慮することを望みます。

●病院事業

十六年度の総収益は9億6千699万円、総支出は10億318万円で、当年度純損失が3千619万円で、この結果当年度未処理欠損額は7千417万円になりました。

本事業会計は、医業収益の全額を業務委託先に委託金及び交付金として支出していることから、他の費用分と経営健全化交付金相当額が資金不足になることは避けられず、そのため平成十六年度決算では1億6千万円を一般会計から繰入れたものです。現行の業務委託契約上ではこのような決算となることは止むを得ないものと思われま

行政報告

湯沢町長 村山隆征



今夏は天候不順が続いた上、継続的な大雨は、県内各地に床上床下浸水や、土砂崩れ等の被害をもたらしました。

八月末現在で取りまとめた、主要観光施設の入り込み客数の対前年比は、四月から八月で、87%となっています。

イベント関係では、七月に加山麓三フィールドコンサート（五千入）や、苗場フジロックフェスティバル（十二万人）が開催され、誘客促進に大きく貢献し、近年では湯沢の音楽イベントとして定着しています。湯沢中里スキー場、パー3コース、土樽スキー場については、引き続き同施設

の経営が存続されるよう、新体制となった株式会社コクトドへ署名簿（町内在住者4千776人、町外商工業者333事業所）を添えて、九月七日に湯沢町観光協会長、商工会長、議会議長に同行いただき要望いたしてまいりました。

その席上では会社側より、土樽スキー場については廃止、また湯沢中里スキー場については、今冬は通常通り営業を続ける旨報告がありました。

署名簿は、各町内会、商工会の皆様からご協力をいただいたものです。

昨年七月にオープンした「体験工房大源太」は、体験交流施設として旅行者に人気があり大変賑わっております。地場産物（そば等）の安定供給を確保し地域の振興を図ります。

主に温泉街や駅周辺における違法駐車一掃の必要性から、警察、関係町内会長、観光及び交通安全活動団体等による違法駐車防止対策会議を開き、湯沢温泉線を始めとして、違法駐車等防

止重点地域の指定（6月21日から）を行いました。

その効果は上がってきており、今後も警察及び県と連携を図りながら、町民の安全で快適な生活環境の確保に向けて、違法駐車対策に取り組んでまいります。

保健医療センター（湯沢病院）では、本年八月で開院三年が経過いたしました。（社）地域医療振興協会の医師を始め、職員の方々が意欲的に取り組まれており、医療内容の充実及び事業収益とも順調に実績を上げています。

今後とも利用しやすい地域の「かかりつけ病院」を目指し、信頼される医療機関として、地域医療振興協会ともども努力を続けてまいります。

今年で第二回目となる湯沢中学生徒海外派遣事業では、七月二十六日から八月九日まで、生徒十一名、随行員二名をアメリカ合衆国ユタ州「マグナ」に派遣いたしました。英語研修と貴重な異文化を学び、ホームステイ体験など相互交流を

深めてまいりました。今後とも相互理解を深めながら、将来姉妹都市提携に向けて国際交流の推進を行いたいと思っております。

行政改革の取り組みについては、平成16年度に財政健全化対策の一つとして、全ての事務事業を見直し、今後三年間に五億円の削減を行うという方針のもとに取り組んでいるところであります。

平成17年度は改革を更に推進するため、第四次行政改革大綱を策定するとともに、施設の統廃合や協働型行政運営のあり方についても検討を進める方針であります。